

予算特別委員会（全体会） 記録

開 会 年 月 日	令和 5 年 3 月 15 日
開 議 時 刻	午前 9 時 58 分
閉 会 時 刻	午前 10 時 32 分
出 席 委 員 名	◎福井輝夫 ○鈴木豊司 三野泰嗣 川口 浩
	大西要一 宮崎 誠 久保 真 中村 功
	井村貴志 上村和生 北村 勝 楠木宏彦
	鈴木豊司 野崎隆太 吉井詩子 世古 明
	野口佳子 岡田善行 辻 孝記 吉岡勝裕
	藤原清史 浜口和久 宿 典泰
	品川幸久 議長
欠 席 委 員 名	なし
署 名 者	三野泰嗣 川口 浩
担 当 書 記	森田晃司
審 査 案 件	議案第 1 号 令和 5 年度伊勢市一般会計予算
	議案第 2 号 令和 5 年度伊勢市国民健康保険特別会計予算
	議案第 3 号 令和 5 年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算
	議案第 4 号 令和 5 年度伊勢市介護保険特別会計予算
	議案第 5 号 令和 5 年度伊勢市観光交通対策特別会計予算
	議案第 6 号 令和 5 年度伊勢市土地取得特別会計予算
	議案第 7 号 令和 5 年度伊勢市病院事業会計予算
	議案第 8 号 令和 5 年度伊勢市水道事業会計予算
	議案第 9 号 令和 5 年度伊勢市下水道事業会計予算
説 明 員	市長 副市長 ほか関係参与

審査経過

福井委員長が開議を宣告し、会議成立宣言の後、直ちに「議案第1号 令和5年度伊勢市一般会計予算」外8件一括を議題とし、各分科会会長からの審査報告の後、討論を行い、採決を行った。その後、委員長報告文の作成については正副委員長に一任することで決定した。

なお、一括9議案の起立採決の結果、「議案第1号」については賛成多数、他の8議案についてはそれぞれ全会一致をもって原案どおり可決すべしと決定し、会議を閉会した。

なお、その詳細は以下のとおり。

開議 午前9時58分

◎福井輝夫委員長

ただいまから予算特別委員会の継続会議を開きます。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名は当初決定のとおりです。

それでは「議案第1号 令和5年度伊勢市一般会計予算」外8件を一括議題といたします。

お諮りいたします。

審査の方法については委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

審査につきましては、議案について各分科会から報告をいただき、報告に対する質疑、討論、採決という形で進めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、審査に入ります。

各分科会から報告をお願いいたします。

最初に産業建設分科会、野崎会長からお願いいたします。

○野崎隆太産業建設分科会会長

おはようございます。

去る2月27日の予算特別委員会において、産業建設分科会に割り振られました「議案第1号 令和5年度伊勢市一般会計予算」外4件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、3月2日及び3日に審査を行いました。

「議案第1号 令和5年度伊勢市一般会計予算」中、当分科会関係分、「議案第5号 令和5年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」、「議案第6号 令和5年度伊勢市土地取得特別会計予算」、「議案第8号 令和5年度伊勢市水道事業会計予算」及び「議案第9号 令和5年度伊勢市下水道事業会計予算」は、それぞれ原案どおり可決することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中当分科会関係分のうち、労働費においては、ITパスポート資格取得支援について、スマートシティを実現するために重要な資格であり、資格の魅力PRに努めることを期待する意見及び試験合格者に伊勢や近隣地域に残ってもらえるよう人材確保の視点で事業に取り組むことを求める意見、インターンシップ促進について、地元伊勢への就職につなげるよう事業の周知徹底を期待する意見、障がい者雇用促進セミナーについて、事業者に合理的配慮を分かってもらえる良い機会となるよう取組に期待する意見、雇用就労支援について、誰もが使える支援が大切であるとの意見、シルバー人材センターへの補助金について、現状把握を行い、金額の妥当性検証を求める意見がありました。

農林水産業費においては、土地取得の面積要件撤廃について、耕作放棄地が活用されるよう積極的な周知を求める意見、ワイン特区を活用した農福連携によるワイン製造について、ワイナリー、飲食店などで雇用創出につなげるよう努力を期待する意見、地産地消について、ゼロカーボンシティの視点からも認定店を増やすよう期待する意見、ブランド化事業と6次産業化事業を統合した競争力強化チャレンジ応援事業について、オーガニックビレッジ等の積極的な研究を期待する意見、担い手支援について、予算書等に「スマート農業」の記載がなく、市民に理解してもらえないことを憂慮する意見、スマート農業機器が高額で単独では購入が難しい課題について、一歩踏み込んだ支援を期待する意見、畜産振興について、畜産業者の状況を確認しながら有効な施策を期待する意見、農地中間管理機構について、生産農家が働きやすい環境づくりを期待する意見、獣害対策について、根本的な解決ができるよう関係機関との連携を期待する意見、スマートフォンを活用した有害獣の目撃情報報告システムについて、様々な場所で有害獣が目撃されることから、全市で使用できるよう求める意見、森林経営管理について、自然災害を防ぐためにも早期の森林保全を求める意見及び所有者不明となっている森林の増加により、将来を憂慮する意見、種苗放流について、県と連携し、昔のような豊かな海になるよう期待する意見、水産振興について、水産振興基本計画の作成を求める意見がありました。

商工費においては、消費生活センターについて、消費者被害が高度化している現状から、高齢者に限定せず注意喚起を行うことを求める意見、商店街のAIカメラを活用した通行量調査について、取得したデータを各団体と共有し生かせるよう期待する意見、地域おこし協力隊について、観光や地域おこしのアイデアを生み出していくことを期待する意見、伝統工芸産業振興について、地域おこし協力隊として伊勢に来てみたいと思えるような取組を期待する意見がありました。

観光費においては、飲食店や宿泊施設等を対象とする心のバリアフリー認定制度について、有効に利用されるよう情報発信を求める意見及び利用者や支援団体等と協力し、取組を進めていくことを期待する意見並びにバリアフリーツーリズムの先進地であることを評価する意見、クリエイターズ・ワーケーションアフター事業について、クリエイターに来てもらった後の取組が大切であり、魅力ある伊勢をPRできるように努力を期待する意見、北海道でのPRや観光ホームページのアクセス数の増加について、積極的な議会への情報提供を求める意見、外国人観光客受け入れについて、宗教的慣習に対し、市内の施設に受け入れ環境が整っていないのではと指摘する意見。

土木費においては、地籍調査について、津波の被害が想定される区域を優先的に進める

ことを求める意見、通学路交通安全プログラムについて、整備されていない危険箇所が課題として浮き彫りになってきていると指摘する意見、通勤通学時の不便を解消し、安全・安心な交差点になるよう研究を期待する意見、駅前B地区市街地再開発事業について、行政が関わる以上、逐次報告を求める意見、道路の無電柱化推進について、工事の内容・状況を市民が理解できるよう求める意見、道路整備プログラムについて、市民・観光客が市内を渋滞なく周遊できるまちづくりを期待する意見、集まれこどもたち公園整備事業について、根底にどんな理念を置くのかが大事であり、特色のある公園整備を求める意見、公園の長寿命化について、政策的な視点の計画策定を提案する意見、住宅・空家リフォーム促進について、住宅リフォーム促進事業補助金が減額となることに違和感を指摘する意見がありました。

次に、特別会計でございますが、観光交通対策特別会計においては、パークアンドバスライドとは違う形で駐車場確保が必要であるとの意見がありました。

次に、企業会計でございますが、水道事業会計においては、有収率が水道事業ビジョンと乖離があることから、最新手法による漏水調査を行っていくべきとの意見、将来的に水道料金を上げないために、改革によるコストダウンを求める意見、下水道事業会計においては、市民が雨水事業の推進を望んでいると指摘する意見、建設改良費の繰越について、工事予定量を減らしてでも単年度で工事を完結する努力を求める意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、産業建設分科会からの報告といたします。

◎福井輝夫委員長

以上で産業建設分科会会長報告は終了いたしました。

これより産業建設分科会会長報告に対する質疑に入ります。御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御意見もないようですので、以上で産業建設分科会会長報告に対する質疑を終わります。

次に、教育民生分科会、藤原会長、お願いいたします。

○藤原清史教育民生分科会会長

去る2月27日の予算特別委員会において、教育民生分科会に割り振られました「議案第1号 令和5年度伊勢市一般会計予算」外4件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、3月6日及び7日に審査を行いました。

「議案第1号 令和5年度伊勢市一般会計予算」中、当分科会関係分については、原案どおり可決することに多数が異議ないこと、「議案第2号 令和5年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」、「議案第3号 令和5年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」、「議案第4号 令和5年度伊勢市介護保険特別会計予算」及び「議案第7号 令和5年度伊勢市病院事業会計予算」は、それぞれ原案どおり可決することに異議がないことを確認いたしましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中当分科会関係分のうち、民

生費においては、伊勢市駅前の健康福祉ステーションについて、子育て支援や生活相談等で多くの市民が来ることが想定されることから、市の保健福祉の拠点として開業を期待する意見、福祉施設の監査について、事業所の勤務の状況や給与の問題に対して、しっかりとした監督を求める意見、任意後見制度について、将来に備えるためにも、より一層の取組を求める意見、障がい者への支援について、親なき後を見据えた支援の充実、手話の普及に向けた環境整備を期待する意見及びデジタルを活用したサービスの向上を目指し、様々なニーズへの対応を期待する意見、孤独・孤立対策について、社会へ参加していくための専門的な支援を期待する意見及び伊勢市多分野協働プラットフォームにおける各関係機関との調整を求める意見、生活困窮者への支援について、物価高の影響があることから、精一杯の努力を求める意見、外出支援について、利用しやすい事業となるよう今後に期待する意見、親子3人乗り自転車の利用について、利用者の目線に立ったニーズの把握やシステムの構築を求める意見、保育士確保について、保育園の規模や地域性等は異なるが、要望をよく聴き、今後の施策に反映することを期待する意見、伊勢市駅前子育て支援センター「キッズ☆もっとテラス」について、利用者の利便性を考慮した運用の工夫を求める意見、子供の発達支援について、親が子の行動を理解するためのペアレントトレーニングを実施する際にニーズを捉えた丁寧な対応を求める意見がありました。

衛生費においては、TNR活動について、行政としてのさらなる支援を求める意見、脱炭素社会について、事業所に対する周知や支援を継続し、ゼロカーボンシティの実現を期待する意見及び啓発や周知だけに留まることなく、市民として具体的な取組ができる施策や予算措置が必要であるとの意見、公衆浴場に対する支援について、銭湯の存続のために根本的な支援を求める意見、再生可能エネルギーについて、太陽光パネルの廃棄や再利用が将来的な課題となり得るため、市民への情報提供をしっかりと行うよう求める意見、健康増進について、健康寿命を延ばすため、動画やSNSを活用し、野菜摂取やバランスの取れた食事をする啓発を提案する意見及びウォーキング推進のアプリ活用等、先進事例の研究を期待する意見、AYA世代への支援について、県が実施する補助事業の申請支援や情報発信を求める意見、休日・夜間応急診療所の改修について、医療器具の充実を求める意見、プラスチック製品の分別回収について、さらなるごみ減量に向けて全市的な取組・社会実験を期待する意見、食品ロスについて、事業所に対する市からの支援を期待する意見がありました。

教育費においては、子供の学力向上について、オンライン活用の研究・検証及び伊勢市の子供の実態に合わせた英語教育の充実を求める意見、学校水泳プールについて、コロナ禍で泳ぐ機会が減っているため、しっかりとした取組を期待する意見、教員の負担軽減について、校務支援システムの使用に支障が出ないように、教育委員会のフォローを求める意見、職場体験について、コロナ禍で事業の実施が難しい状況にあるが、子供たちの新たな発見となるように力添えを期待する意見、豊かな心を育む体験活動について、芸術に直接触れることは大切であり、研究し、取り入れることを求める意見、奨学金支給について、子供たちの学べる環境づくり形成のために支援を求める意見、不登校対策について、不登校特例校設置の研究と寄り添ったサポートを求める意見、就学援助について、子供の貧困対策の充実のためにも、しっかりとした対応を期待する意見、図書の整備について、電子書籍導入等のニーズを捉え、さらなる充実を期待する意見、お伊勢さんマラソンについて、

駐車場対策の再考を求める意見、インクルーシブスポーツについて、外国人も含め、一人でも多くの市民が楽しめる環境づくりを期待する意見がありました。

なお、ゼロカーボンシティの実現について、具体的な施策が予算に盛り込まれていないこと、また、燃えるごみの減量について、意欲的な目標が掲げられていないことから、一般会計に反対の意思表示をする委員がみえたことを申し添えます。

次に、特別会計でございますが、国民健康保険特別会計においては、保険料を払えない世帯がないよう軽減を求める意見、保険者努力支援交付金について、取組結果が交付額に反映されるよう、国に対し要望を求める意見、介護保険特別会計においては、認知症賠償責任保険について、幅広い周知を求める意見、認知症フレンドリー宣言について、県内他市の宣言事例もあることから、早期実施を期待する意見がありました。

次に、企業会計でございますが、病院事業会計においては、年間の入院予定患者数を9万人以上としていることについて、収支の改善に期待する意見、救急センター設置に期待する意見、健全な経営と質の高い医療の提供を期待する意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、教育民生分科会からの報告といたします。

◎福井輝夫委員長

以上で教育民生分科会会長報告は終了いたしました。

これより教育民生分科会会長報告に対する質疑に入ります。御発言はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御発言もないようですので、以上で教育民生分科会会長報告に対する質疑を終わります。

次に、総務政策分科会、岡田会長、お願いいたします。

○岡田善行総務政策分科会会長

去る2月27日の予算特別委員会において、総務政策分科会に割り振られました「議案第1号 令和5年度伊勢市一般会計予算」につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、3月8日に審査を行いました。

「議案第1号 令和5年度伊勢市一般会計予算」中、当分科会関係分については、原案どおり可決することに異議ないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中、当分科会関係分の歳出でございますが、総務費においては、電子入札システムについて、入札における不祥事が生じないよう、安全で公平なシステムの導入・活用を求める意見、会計年度任用職員について、処遇改善の取組を引き続き行うことを求める意見、自衛隊への情報提供について、法定受託事務でありながらもプライバシー権との兼ね合いで問題があり、個人情報保護の観点から、申請をすることで情報提供の対象から除外することの検討を求める意見、人事評価制度の非管理職員への活用について、評価の公平性、納得性を高めるよう求める意見、職員採用について、職員の年齢構成バランスに偏りが生じないよう長期的な視点での採用と、伊勢市役所を選んでいただけるような魅力ある職場環境づくりを求める意見、職場に

おけるハラスメントへの対応について、職員が安心して職務を果たせる環境づくりを求める意見、外部人材の活用について、外部からの人材のノウハウや力が発揮できるよう、受入れ体制の整備を求める意見、デジタル活用を進める上での総合支所、支所も含めた対面窓口の在り方について、早期に検討することを望む意見、スマートシティの推進について、行政システムの統合には莫大な経費がかかることが危惧されるため、国に費用を捻出することを求める意見、出会い・結婚支援事業について、結婚にどれだけ結びついたか成果の検証を望む意見及び三重県が実施する「みえの出会い支援事業」による相乗効果が出るよう、体制を整えることを求める意見、男女共同参画推進について、女性のキャリアアップの後押し、女性の活躍機会の拡大に努めることを求める意見、廃校となった小中学校の活用方法について、あらゆる角度から検討を行い、早期に有効活用できるよう議論を進めることを求める意見、伊勢まつりについて、ディズニーリゾート・スペシャルパレードの招聘にあたり、準備を整え、警備体制の確立を求める意見、まちづくり協議会への支援について、組織・活動を確かなものとするための事業の展開を期待する意見、防犯カメラの設置、維持管理補助について、自治会に丁寧に説明し、さらなる設置促進を期待する意見、選挙公報について、配布体制の見直しと若者に親しみのあるSNSを通じた発信等により若年層の投票率の向上を図るよう期待する意見がありました。

消防費においては、地域の防災力について、地域の団結力が防災力アップにつながるため、地域への支援を求める意見がありました。

教育費においては、アクティブ・アート推進事業について、文化芸術活動の活性化、伊勢の魅力の発信の継続した取組を期待する意見、郷土資料館の予定地について、多くの人が集う外宮前が最適な候補地であるという意見、賓日館について、各種イベント等で有効に活用するため、空調の設置の検討を求める意見がありました。

次に歳入でございますが、諸収入について、避難所として利用している廃校となった学校について、いつまでも行政財産とするのではなく、普通財産としての管理、処分をするなど、整理する必要があるとの意見がありました。

また、審査をするにあたり、予算書について、人件費予算の計上の仕方、事業内容など、予算書への記載を分かりやすくすることを求める意見がありましたので申し添えます。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、総務政策分科会からの報告といたします。

◎福井輝夫委員長

以上で総務政策分科会会長報告は終了いたしました。

これより総務政策分科会会長報告に対する質疑に入ります。御発言はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御発言もないようですので、以上で総務政策分科会会長報告に対する質疑を終わります。これをもって各分科会会長報告及び質疑を終わります。

続いて、総括質疑に入りますが、通告はありません。これをもって総括質疑を終わります。

続いて、議案第1号外8件一括に対する討論を行います。討論はありますか。

暫時休憩します。

休憩 午前 10 時 25 分

再開 午前 10 時 25 分

◎福井輝夫委員長

休憩を解き再開します。

討論はありませんか。

楠木委員。

○楠木宏彦委員

日本共産党を代表しまして、「議案第 1 号 令和 5 年度伊勢市一般会計予算」に反対の立場から討論をいたします。

反対の理由は、第 1 に会計年度任用職員の処分について、期末手当が国の示す基準よりも低いなど一層の改善に取り組む必要がありますが、そのような方向性が見えないこと。

第 2 に、自衛官募集事業は適齢者の個人情報自衛隊に提供するものですが、市民のプライバシー権保護の点で問題があると考えます。自衛隊への情報提供を希望しない本人などの申請により提供する名簿から除外する、こういう扱いが政令指定都市 20 市のうち少なくとも 11 市で行われております。こうした配慮が最低限必要です。

第 3 に、マイナンバーカード取得強化事業は出張申請サポートの実施により、市民のマイナンバーカードの申請交付を後押しするものですが、そもそもマイナンバーカード取得は任意であり、取得の義務はありません。市が取得促進一辺倒の姿勢を取るのはいかに問題があると考えます。

第 4 に、環境対策、ごみ減量関連について、積極的な方策が打ち出されていないことです。伊勢市は昨年、令和 4 年 10 月、ゼロカーボンシティいせを宣言いたしました。令和 5 年度の予算においては、それにふさわしい環境計画、ごみ削減計画に基づいた具体的な施策が求められるところです。しかし環境計画においては、地域全体の温暖化効果ガスの削減目標及び具体策が不十分です。また、再生エネルギー導入の具体策も積極性が見られません。ごみ削減計画については、燃えるごみについて消極的な数字しか出ていない。そして、プラスチックごみの回収再生利用においても、プラスチック資源循環促進法に則した魅力的な施策が見られません。

また、新ごみ処理施設についても、この計画が新しい時代の流れにそぐわない内容と規模を持ったものであるという点から、その事業への負担金の支出は適切でないと考えます。

地球温暖化による気候変動は、気候危機と呼ぶべき非常事態であり、全地球的課題でありますけれども、それは同時に当然、地方自治体においても取り組むべき課題です。令和 5 年度のこの分野に関わる予算は極めて不十分なものとどまっていると言わざるを得ません。

以上の諸点から、日本共産党として、令和 5 年度一般会計予算に反対の態度を表明いたします。

◎福井輝夫委員長

他に討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

他にないようですので、以上で討論を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩 午前 10 時 29 分

再開 午前 10 時 30 分

◎福井輝夫委員長

休憩を解き、会議を続けます。

ただいまから議案第 1 号外 8 件一括を採決いたします。

9 件一括を議案のうち、まず、「議案第 1 号 令和 5 年度伊勢市一般会計予算」を採決いたします。

議案第 1 号について、原案どおり可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎福井輝夫委員長

ありがとうございます。

起立多数と認めます。

よって、「議案第 1 号 令和 5 年度伊勢市一般会計予算」は原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、議案第 1 号を除く 8 件について、原案どおり可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎福井輝夫委員長

ありがとうございます。

起立全員と認めます。

よって、「議案第 2 号 令和 5 年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」、「議案第 3 号 令和 5 年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」、「議案第 4 号 令和 5 年度伊勢市介護保険特別会計予算」、「議案第 5 号 令和 5 年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」、「議案第 6 号 令和 5 年度伊勢市土地取得特別会計予算」、「議案第 7 号 令和 5 年度伊勢市病院事業会計予算」、「議案第 8 号 令和 5 年度伊勢市水道事業会計予算」、「議案第 9 号 令和 5 年度伊勢市下水道事業会計予算」、以上 8 件は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

以上で本委員会に審査付託を受けました案件の審査は終わりました。

お諮りいたします。

委員長報告文の作成については正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で御協議いただきます案件は終わりました。

これをもちまして予算特別委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時32分

上記署名する。

令和5年3月15日

委員長

委員

委員